

様式第23号（第5条関係）

令和 5 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市六島7572
協議会名	六島まちづくり協議会
協議会長名	会長 三宅 千歳

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）  
変更申請書（兼）実績報告書

令和 4 年 6 月 1 日付け笠岡市指令協第 43 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 696,469 円  
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
700,000	696,469		3,531

2 交付金が減額変更になった理由

経費削減に努めたため

【添付書類】

- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書  
(様式第25号又は様式第25号の1)
- 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	山道整備
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	島民と観光客の安全を守るための、前浦集落より灯台までの山道及び灯台から湛江集落までの周遊山道整備
【効果】	山道の草刈りや整備、道を覆う木の枝を伐採する事で景観を守る事ができる。また、人が定期的に整備に入ることにより、イノシシの害獣対策にもなる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  
 (計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

島内

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 7 人（ア+イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 7 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 人（イ）  
 ○団体： (団体名) , (団体名)  
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

前浦集落から灯台までの山道及び、灯台から湛江集落までの周遊山道の整備として、主に観光シーズンやイベント前に草刈り、樹木の伐採を実施した。また、昨年度作成した島内八十八ヶ所のお堂の立て札の設置を行なった。

6 決算額

212,483 円（うち交付金分 203,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	島民と観光客の安全を守る事ができた。島内八十八ヶ所のお堂の立て札を設置したことで、観光客が巡りやすくなった。
【課題】	整備作業をする人の高齢化が進んでいるので、けがなどの事故が心配である。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	山道整備

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 203,000	203,000	0	当該年度分
その他収入	0	9,483	△ 9,483	
自主財源		9,483	△ 9,483	自主財源より
			0	
			0	
計	203,000	212,483	△ 9,483	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	27,000	0	27,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	161,000	195,983	△ 34,983	〃
役務費	15,000	16,500	△ 1,500	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	203,000	212,483	△ 9,483	決算額のうち市交付金分 ② <u>203,000</u>

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③                      円 返還額 ④                      0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。







## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 1

協議会名	六島まちづくり協議会
活動名	山道整備

活動目的	島民と観光客の安全を守るための、前浦集落より灯台までの山道及び灯台から湛江集落までの周遊山道整備
実施内容	前浦集落から灯台までの山道及び、灯台から湛江集落までの周遊山道の整備として、主に観光シーズンやイベント前に草刈り、樹木の伐採を実施した。また、昨年度作成した島内八十八ヶ所のお堂の立て札の設置を行なった。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	4
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> 島民と観光客の安全を守る事ができた。島内八十八ヶ所のお堂の立て札を設置したことで、観光客が巡りやすくなった。	<b>現状と課題</b> 整備作業をする人の高齢化が進んでいるので、けがなどの事故が心配である。
--	---

## 今後の活動の方向性・改善策

近年、イノシシによる球根の掘り起し被害が増えている。草刈りと並行してイノシシ対策と球根の植え直し作業を行い、元の美しい状態に戻したい。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	灯台と共に100年～六島の現在・過去・未来～「島まるごと生活博物館」
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	六島灯台100周年の顕彰事業を行うことにより、島のシンボルとしての灯台や島の歴史を掘り下げ、地域を知ること で島への誇りと愛着を強めると共に、100年の節目をチャンスと捉えて取り組みを内外へ広くアピールする。
【効果】	100年の顕彰事業により、節目として島民総参加の事業を行うことにより地域の絆を強める。島まるごと生活博物館 のコンセプトのもとに地域のヒトとモノが整理され、島暮らし（生活）を観光資源としてとらえ、観光から移住へ の効果を検証する。

2 実施期間

令和 4 年 6 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  
(計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

島内

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 160 人（ア＋イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 150 人（イ）  
 ○団体： （団体名） 美作大学 有岡ゼミ ， （団体名） 六島自治会  
 （団体名） 六島小学校 ， （団体名）

5 実施内容

島民出演による灯台100周年PRポスターの作成。六島今昔物語写真展。10/22、23、29、30の4日間記念イベント開催。  
 12/1の記念日には笠岡小学校3年生の児童を招待して「友だち100人プロジェクト」を実施

6 決算額

107,201 円（うち交付金分 106,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	ポスターで周知したことでイベント当日には多くの方が島を訪れた。
【課題】	次年度以降も水仙の観光シーズン以外にも観光客が定期的に島を訪れるような仕組みづくりを検討しなければならない。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	灯台と共に100年～六島の現在・過去・未来～「島まるごと生活博物館」

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 106,000	106,000	0	当該年度分
その他収入	0	1,201	△ 1,201	
		1,201	△ 1,201	自主財源より
			0	
			0	
計	106,000	107,201	△ 1,201	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	70,000	70,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	16,000	15,560	440	〃
需用費	20,000	18,841	1,159	〃
役務費	0	2,800	△ 2,800	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	106,000	107,201	△ 1,201	決算額のうち市交付金分 ② <u>106,000</u>

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 灯台と共に100年～六島の現在・過去・未来～「島まるごと生活博物館」

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	7	25	制作者	ポスター制作謝金	50,000	50,000
2	4	9	4	撮影者	ポスター撮影謝金	20,000	70,000
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						70,000	

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 灯台と共に100年～六島の現在・過去・未来～「島まるごと生活博物館」

費目 旅費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	6	11	三洋汽船	ドローン撮影下見 船往復	2,560	2,560
2	4	7	24	三洋汽船	ドローン撮影 船往復	2,560	5,120
3	4	7	25	ポスター作成者	<small>高速料金片道3,690円×2+往復タクシー1,700円+船往復2,560円 (見積書№431-2)</small>	10,440	15,560
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						15,560	



# 出 納 簿

交付金区分                      活動交付金

活動名                      灯台と共に100年～六島の現在・過去・未来～「島まるごと生活博物館」

費目	需用費	食糧費
----	-----	-----

No.                              1                              ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	7	24	オンリーワン	ポスター撮影 ジュース代	3,991	3,991
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						3,991	



## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 2

協議会名	六島まちづくり協議会
活動名	灯台と共に100年～六島の現在・過去・未来～「島まるごと生活博物館」

活動目的	六島灯台100周年の顕彰事業を行うことにより、島のシンボルとしての灯台や島の歴史を掘り下げ、地域を知ることによって島への誇りと愛着を強めると共に、100年の節目をチャンスと捉えて取り組みを内外へ広くアピールする。
実施内容	島民出演による灯台100周年PRポスターの作成。六島今昔物語写真展。10/22、23、29、30の4日間記念イベント開催。12/1の記念日には笠岡小学校3年生の児童を招待して「友だち100人プロジェクト」を実施

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動の目的・効果を地域のみならず共有することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> ポスターで周知したことでイベント当日には多くの方が島を訪れた。	<b>現状と課題</b> 次年度以降も水仙の観光シーズン以外にも観光客が定期的に島を訪れるような仕組みづくりを検討しなければならない。
---	--

## 今後の活動の方向性・改善策

現存する観光資源を維持活用しながら、島外に向けての情報発信も、継続して行えるような仕組みづくりをする必要性がある。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	農業事始め（レモン、ハーブ栽培）
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	島の耕作放棄地解消対策の一環とし、耕作放棄地を切り開き、販売も視野に入れた収益性の高い事業展開を図る中で、新たにイノシシに強く、軽量、乾燥して日持ちもするハーブを島民を上げて栽培する。
【効果】	灯台100周年の節目に「全島民」が庭先で育てるという「オール六島」の精神を小さい島ならではの強みとしてアピール。観光客視点だけではなく島民自らが六島ビールや六島レモン・ハーブなどを新しい島民文化を作るイメージでの取り組みで島生活の幸福度向上効果が見込まれる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  
 （計画期間 3 年中 1 年目）

3 実施場所

島内

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 15 人（ア+イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）  
 ○団体： （団体名） 六島公民館 ， （団体名）  
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

ハーブ講習会の開催（ハーブについての基礎知識の勉強会とハーブティーの試飲会、ハーブを使ったメニューの試食会）6/16、10/29  
 ハーブ苗の植栽、栽培  
 レモン栽培、収穫

6 決算額

92,469 円（うち交付金分 92,469 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	ハーブを使用したモヒートは水仙植栽作業の参加者にも大変好評だった。灯台100周年イベントでは灯台カフェを開き、ハーブティーの試飲会も行なった。 レモンの木も順調に生育し、少しずつではあるものの出荷量も増えてきている。冬の寒波に備えて防寒対策を行なった事で被害もなかった。
【課題】	六島は年間通して降水量が少なく、ハーブ栽培は水やり等の管理ができない所での栽培は難しかった。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 六島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	農業事始め（レモン、ハーブ栽培）

【収入の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 96,000	92,469	3,531	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	96,000	92,469	3,531	

【支出の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	15,000	10,000	5,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費	13,000	7,680	5,320	〃
需用費	65,000	71,989	△ 6,989	〃
役務費	3,000	2,800	200	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	96,000	92,469	3,531	決算額のうち市交付金分 ② <u>92,469</u>

市交付金の余剰金 ①-② 3,531 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③                      円 返還額 ④ 3,531 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。



## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 3

協議会名	六島まちづくり協議会
活動名	農業事始め(レモン、ハーブ栽培)

活動目的	島の耕作放棄地解消対策の一環とし、耕作放棄地を切り開き、販売も視野に入れた収益性の高い事業展開を図る中で、新たにイノシシに強く、軽量、乾燥して日持ちもするハーブを島民を上げて栽培する。
実施内容	ハーブ講習会の開催（ハーブについての基礎知識の勉強会とハーブティーの試飲会、ハーブを使ったメニューの試食会）6/16、10/29 ハーブ苗の植栽、栽培 レモン栽培、収穫

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	4
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> ハーブを使用したモヒートは水仙植栽作業の参加者にも大変好評だった。灯台100周年イベントでは灯台カフェを開き、ハーブティーの試飲会も行った。 レモンの木も順調に生育し、少しずつではあるものの出荷量も増えている。冬の寒波に備えて防寒対策を行なった事で被害もなかった。	<b>現状と課題</b> 六島は年間通して降水量が少なく、ハーブ栽培は水やり等の管理ができない所での栽培は難しかった。
---	--

**今後の活動の方向性・改善策**

六島の特産品として栽培しているレモンやハーブを使って、島のひじきや魚介類などの食材と組み合わせたレシピを考案し、水仙のシーズン以外での集客に繋げる。